

エプキンリ療法を受けられる患者様へ

エプキンリパス(28日間)【06011-00】

患者氏名： 様 入院病棟： 病棟 主治医： 受け持ち看護師： No1/1

日付	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/	/ ~ /		
入院日数	1日目		2日目、9日目、16日目		3日目～8日目、 10日目～15日目、 17日～22日		23日目	24日目～27日目	28日目
イベント	入院日：治療前日		治療日				治療日		退院日
目標 毎日看護師と 評価します	・38度以上の発熱がない ・治療や副作用症状について理解できる ・日常生活の注意点を理解し、感染予防行動がとれる		・38度以上の発熱がない ・書字障害や歩行障害、神経症状がない ・治療や副作用症状について理解できる ・副作用出現時に報告できる ・日常生活の注意点を理解し、感染予防行動がとれる		・38度以上の発熱がない ・書字障害や歩行障害、神経症状がない ・治療や副作用症状について理解できる ・副作用出現時に報告できる ・日常生活の注意点を理解し、感染予防行動がとれる		・38度以上の発熱がない ・書字障害や歩行障害、神経症状がない ・治療や副作用症状について理解できる ・副作用出現時に報告できる	・38度以上の発熱がない ・書字障害や歩行障害、神経症状がない ・治療や副作用症状について理解できる ・副作用出現時に報告できる	
							・日常生活の注意点を理解し、感染予防行動がとれる	・退院後の生活について理解できる	
内服 注射	・自宅で内服していたお薬は、薬剤師が確認するため一度お預かりします   		・朝食後にデカドロンをエブキンリの注射日から4日間内服します ・エブキンリの注射1時間前（10時）と夕食後2時間（20時）に副作用予防の薬（カロナール、メキタジン）を内服します ・治療日の朝8時から治療4日目昼頃まで24時間水分の点滴をします 				・エブキンリの注射1時間前（10時）と夕食後2時間（20時）に副作用予防の薬（カロナール、メキタジン）を内服します 	退院基準：バイタルサインが安定し入院時と比べ新たな自覚症状がない 	
検査	・採血、レントゲン、心電図検査があります 入院中は定期的に採血があります ・退院まで毎日朝に体重測定をお願いします  		・エブキンリ投与時から4日目昼頃まで心電図モニターを装着します 				・エブキンリ投与時から4日目昼頃まで心電図モニターを装着します 		
治療 処置	・エブキンリ投与前日（1日目、8日目、15日目）に点滴の管を留置します		・11時頃エブキンリを皮下注射します 				・11時頃エブキンリを皮下注射します 		
食事 飲水	・サイトカイン放出症候群や腫瘍崩壊症候群を予防するため、エブキンリ投与期間中は水分摂取を心がけて下さい 								
清潔	・特に制限はありませんが、点滴の管は保護が必要です シャワー時間は日中に看護師に相談してください 								
排泄	・排便や排尿の回数を確認します 前日の朝6時～当日6時までの回数をお聞きます								
安静 活動	・特に制限はありませんが、注射当日は自室または病棟内で過ごして下さい ・リハビリテーションの介入があります								
説明 指導	・薬剤師からオリエンテーションがあります ・日常生活の注意点や感染予防行動について説明します 		・体調確認と副作用について一緒に確認します 寒気、発熱、めまいがある場合、また、免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群の症状（読み書きができない、言葉がでないなど）や、痙攣、ふるえ、力がはいらない等の症状がある時にはお知らせ下さい ・神経症状の確認のため、毎日1日3回、名前や生年月日、病院名、字が書けるかなど、簡単な質問をしますのでご協力お願いします 				・退院薬をお渡しします ・次回入院日、または次回外来受診日をお伝えします ・会計からの連絡後、1階で精算して頂き、退院となります ・主治医が問題ないことを判断するまでは、運転や危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください ・ご自身で気づくことができない、痙攣や物忘れなどの神経症状もあります ご家族や周囲の方々にも注意していただく必要があります		

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります